

# 『クビアカツヤカミキリ』 にご注意ください

平成30年1月15日付けで、環境省より特定外来生物に指定されたクビアカツヤカミキリは、平成27年7月に、館林市のサクラにおいて県内で初めて確認されて以降、県東部地域において被害が確認されています。また、今年度の6月には太田市内のサクラなどで確認され、今後市内に拡大するおそれがあります。

クビアカツヤカミキリの幼虫は、サクラ、ウメ、モモなどの樹木の内部に侵食するため、倒木などの被害があります。

被害拡大防止のため、成虫を発見した場合はその場で捕殺してください。下記の写真を参考に、発見した場合または、発生が疑われる場合は、可能な範囲で写真を取り、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

特徴については、下記を参考にしてください。

## ○クビアカツヤカミキリの特徴

- ・成虫は22～38mm程度
- ・体全体は光沢のある黒色、首部が明赤色
- ・成虫は6月中旬～8月上旬に現れる
- ・幼虫が侵食した樹木からは大量のかりんとう状のフラス（木くずや排せつ物からなる）を排出する



幼虫の侵食により排出されたフラス  
※群馬県自然環境課ホームページより



クビアカツヤカミキリの成虫  
※群馬県自然環境課ホームページより

## 【お問い合わせ】

桐生市役所公園緑地課緑化推進係（0277-46-1111 内線283）

Eメールアドレス：koen@city.kiryu.lg.jp